

薬剤師さん、薬剤師助手さん大募集！！

当病院は精神科、認知症を中心とした診療を行っており、医師は精神科、認知症専門医が多く勤務されています。しかしながら、主病名としては精神疾患、認知症であっても様々な合併症を持たれている患者さんが多く、さらに高齢者が多いので様々な薬剤による治療が必要になります。

【業務内容について】

① 内服調剤

当院は外来患者さんに対して原則院内調剤を行っています。ヒート（PTP）で調剤することもあります。多くの場合服薬管理が困難な高齢者の方であることから、薬剤は一包化していることが多いです。外来患者数は多い日で70名、少ない日で10名です。病棟の内服は一包化できる薬剤は原則的に一包化して払い出しています。併設の高齢者施設への調剤も同様に行っています。

② 注射剤

注射剤は注射処方箋に基づき外来、病棟、高齢者施設に払い出しています。混注作業は看護師が行っています。

③ 服薬指導

外来患者さんに対して投薬時に服薬指導を積極的に行っています。当院では電子カルテで診療状況を薬剤師が把握できますので、その内容に沿った指導を心掛けています。

入院患者さんに対して直接服薬指導を行うのは、医師、病棟看護師等からの特別の要請がない限り、現時点では行っていません。しかし、病態、薬剤に対する理解の不足から拒薬をされる患者さんがおられ、医師、看護師が対応に難渋しているケースも多く存在するため、人員が整えばぜひ実施したいと考えます。

④ 持参薬の対応

入院時に持参される（または入院中に他科受診された方が持参される）薬剤については、一度看護師によるチェックを受けた後で薬剤師による内容確認を行います。払い出しについては、内服薬の場合、日数が多いときは原則として定期処方とともに薬局で管理して出しています。外用薬に関しては、一括病棟管理としています。

⑤ DI 業務

当院では、医局会の中で月1回薬事委員会を開催し、医局会に出席される医師と薬剤師DI担当が参加しています。薬剤の採用申請が上がった時にはその資料を薬剤師が作成し、薬事委員会に提示しています。特にメーカーの情報提供が必要な場合はメーカーMR同席でヒアリングを実施しています。薬事委員会では単に新薬の採用、口座カット品の選定のみの議題ではなく、当病院内に必要な薬剤に関する情報共有の場となっており、一包化、ワクチンなど様々な議題に関して医師からのご意見も拝聴し、薬剤師からも要望を

上げています。

⑥ 研修

当院では月2回の医局説明会とその都度メーカーより要請があればWEBシンポジウムを行っています。薬局が窓口となり、最終的には病院上層部に確認を取って実施しますが、どちらも薬剤師同席が可能です。内容はメーカー主導だけではなく医局からの要望でテーマを決めてメーカーと交渉することや、また薬局よりテーマの相談を医局に対して行ったうえでメーカーと交渉することもあります。

勤務体制について

薬剤師は、現状はフルタイム（月～金 8時30分～17時30分）3名、週4回2名、週2回1名の6名の薬剤師と、4名の薬剤師助手で業務しておりますが、調剤量の増加に伴い増員が必要な状況となっています。もちろんフルタイムで勤務いただける方がありがたいですが、非常勤やパートを含め働き方についてはできるだけご要望に沿いたいと考えています。休みについては、法人の就業規則の中での有給休暇やライフサポート休暇の行使なら、基本的にすべて認めています。もちろん休みの希望者が重なってしまう場合には、休みの変更をお願いすることもあります。

多様な病態を持つ精神疾患患者さん、認知症患者さんに対して、薬剤師の立場で医療貢献していただける方はいらっしゃらないでしょうか。外来調剤だけではなく様々な業務に積極的に取り組んでいただける薬剤師さんを探しています。

同時に薬剤師助手も募集しています。

薬剤師とは異なる業務が多くありますが、共同でこなしていく業務もあります。医薬品の発注、在庫管理、PC入力、保守管理、医薬品の一包化作成等、他では経験できない業務があります。

未経験者でも歓迎します。ぜひキャリアアップの機会ととらえていただき、薬剤師助手のご応募いただければ幸いです。

薬局長 三井